

サイト名称

尾無の湿地

法人・団体名

NPO法人水辺に遊ぶ会

希望する支援の種類

- 金銭的支援
- 人的支援
- 技術的支援
- 物的支援

支援者向けコメント

尾無の湿地は大分県中津市にある野依新池と宇佐市の植野池のちょうど中間地点に立地しています。両池は、わずか200m程の距離しか離れていませんが、どちらもベッコウトンボの発生池として知られています。

同種は、種の保存法が施行された時、昆虫類で唯一適用を受けた重要種です。1970年代までは宮城県以南に生息する普通種でした。開発や自然改変型の土木施工の影響から急速に数を減らし、現在大規模な生息地は全国に数ヶ所しか残されていません。トンボ類が800種いるとされる中国でも最も希少な種として重要視されています。

認定地にはこの他にもコバネアオイトトンボも生息が確認されている他、希少な両生類なども生息していることが確認されています。

私たちは、改善作業についても一度に変えていくと言うよりも時間を掛けて状態を確認しながら良好な状態を維持、再生していこうと考えています。さらに、できれば認定地域の拡大についても考えており、周辺の土地買収、譲渡の受け入れ、入会地の活用なども視野に入れて活動を続けてくつもりです。

希望する支援の具体的な内容

尾無の湿地は、元々放棄水田でしたが、数年前に客土し整地してしまっただけ乾燥化がすすんでしまいました。これから数年を掛けて、元々の湿地状態にもどしていくことを目標にしています。そのためには、定期的な草刈り、竹炭、燻炭などを利用した土壌処理、土地に起伏を付ける地形の変更などが必要になります。

また、通年のモニタリングを通して生物相の変化にも注目していきたいです。土地再生については、生態学的知見とビオトープ創出のための施業の知識が必要になると考えていますので、専門家の協力も仰ぎたいと思っています。作業には人手も必要なので、作業方針などが決まれば、ボランティアなども募ることになります。

